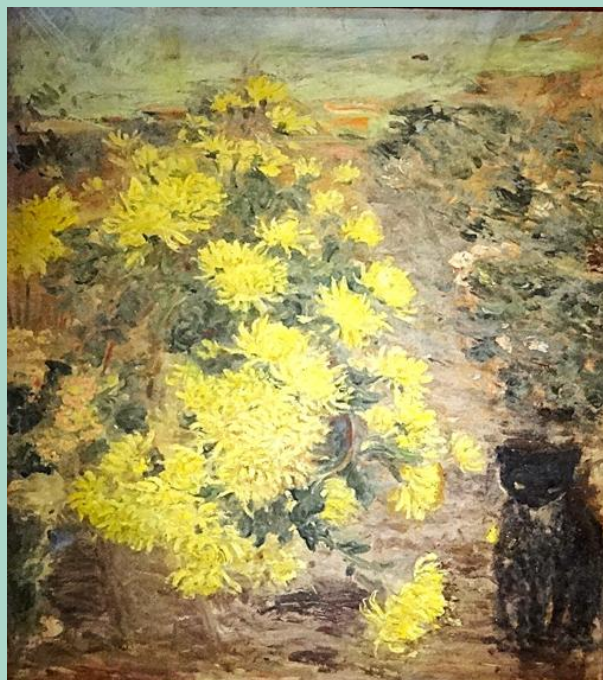




2026～2027

久留米北ロータリークラブ

題字 故石井光次郎先生



菊と黒猫（1937 年頃制作）

画家 井手無一

提供 井手森生

井手無一が故郷の浮羽郡田主丸町に住んでいた頃の作品です。俳人横山白虹の妹まつ子と結婚し旧制南筑中学の美術教師をしていました。

秋の菊が満開の中にたたずむ猫を描いています。

《クラブ会報委員長：井手森生》

「四つのテスト」

（言行はこれに照らしてから）

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

CREATE
LASTING
IMPACT

持続可能な
インパクトを
生み出そう

第2281 回例会

地域社会の経済発展月間

米山月間

令和8年10月8日(木)

創立49周年記念例会

18:30 開会点鐘

1. 国歌斉唱
2. ロータリーソング「奉仕の理想」
3. 四つのテスト唱和
4. 会長あいさつ
5. 皆勤者表彰

35年皆勤賞	北原明彦 君
	石井克樹 君
30年皆勤賞	横溝當一 君
HC100%皆勤賞	野口精二 君
	稲益一郎 君
	眞木啓樹 君
6. 曲紹介～演奏～
7. S.A.A.報告
8. 出席報告
9. 委員会報告
10. 幹事報告

19:00 閉会点鐘

19:00 開宴

司会：親睦活動委員 金谷愛里沙 君

開会の辞 親睦活動委員長 稗島大督 君
乾 杯 クラブ奉仕委員長 田中憲治 君
祝 宴

ロータリーソング 「手に手つないで」

万歳三唱 永瀬信孝 君

閉会の辞 会長エレクト 中村祐二 君

20:30 閉宴

幹 事 報 告

10月のロータリーレート 1ドル157円

1. 次週10月15日(木)の例会は、休会となっております。萃香園でのお昼の例会はありませんのでご注意ください。

委員会報告

*親睦委員会

☆第2回IDMテーマ『地位域社会の奉仕活動について』 11月中に開催をお願い致します。

◎リーダー ○サブリーダー

★A 班 11/5(木) 18時半 萃香園	★B 班	★C 班	★D 班	★E 班 11/26(木) 18時半 清玄	★F 班
◎北原明彦	◎堀川公平	◎福島嘉三次	◎横溝當一	◎中村祐二	◎吉田恭治
○川村仁洋	○高島正博	○勝本将弘	○堤 直輝	○木下高明	○高田 誠
渡辺省三	眞木啓樹	森光茂敏	高山直久	稗島大督	有馬良信
浅川博範	稲益一郎	尾形 学	野村正一郎	伊藤晴輝	隈 隆基
小田洋子	永渕信孝	井 ヒトミ	内野陽介	安富秀亮	大石和行
隈本 真	古賀幹也	井手森生	長郷国久	石井克樹	野口定敏
寺島 茂	吉田 茂	緒方康幸	荻原知明	板坂明彦	牛島純一
中島 健	川崎和子	篠原靖典	栗原佳生	石井智幸	野口景介
宮原通義	大石幸嗣	小池敏彦	松尾佳子	田中憲治	丸山 忍
野口精二	春口英子	金子真也	末松伸之	山田明子	黒川昭徳
浅野明裕	福嶋 斉	北村宗文	石田万喜子	二又 清	福川祥史
金谷愛里沙	本間大策	中村典子	古賀哲哉	池田宏司	田ノ上千鶴香
松永由紀子					

近隣 RC 例会案内

※例会当日に参加出来なかった場合は MU を宜しくお願い致します。

MU 受付 11 時半～12 時半(甘木・浮羽 RC12 時～13 時 八女 RC10 時～15 時) (MU 可能会場)

久留米	10月9日(金)	第3回クラブ協議会	—
	10月16日(金)	定款により休会	—
久留米東	10月12日(月)	休会 スポーツの日	—
	10月19日(月)	ゲスト卓話 古賀病院と久留米市介護福祉サービス事業協議会	—
久留米中央	10月13日(火)	定款により休会	—
	10月20日(火)	10月・11月誕生日夜間例会に変更	創世
鳥 栖	10月14日(水)	通常例会	—
八 女	10月13日(火)	定款により休会	—
甘 木	10月13日(火)	定款により休会	—
小 郡	10月19日(月)	10月12日 宝満川桜並木清掃	ANAホリデイ
浮 羽	10月14日(水)	定款により休会	—
筑 後	10月15日(木)	通常例会	—
インターアクト	未定		—

出 席 報 告

9月24(木)

☆休会の為、出席報告はありません

例 会 予 告

*10月15日(木) 定款により休会

*10月22日(木) ゲスト卓話 久留米警察署

*10月29日(木) ゲスト卓話 安治川部屋

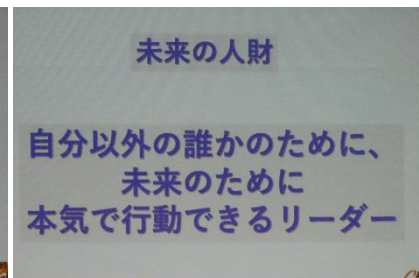
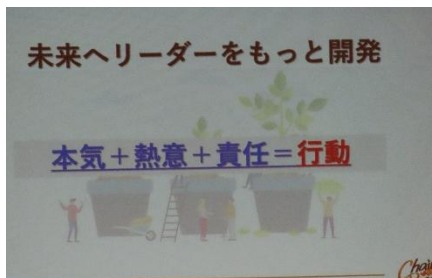
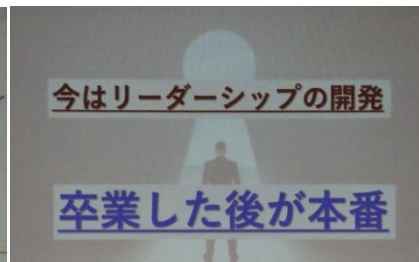
前回の例会報告

☆ゲスト卓話 元石征吾様
『これからのJC』

☆10月1日(木) 12時半時開会点鐘 於:萃香園

・ゲスト 2名 元石征吾 様 他1名

・ビジター 0名



2700地区
RLI 研修修了証贈呈
・中村祐二君
・長郷国久君

米山月間に寄せて



米山記念奨学委員会
委員長 尾畑 和隆(宗像RC)

《月信10月号より》

ロータリー米山奨学事業とは、日本のロータリー全地区合同の国際奉仕事業です。日本で学ぶ外国人留学生に奨学金を支給し、支援することにより、日本と世界との平和の架け橋になる人材を育てています。国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材であり、ロータリーの目指す“平和と国際理解の推進”そのものです。この事業は1952年、東京ロータリークラブが発表した「米山基金」に始まります。日本のロータリーの創始者である故・米山梅吉氏の生前の功績を讃え、後世に残る有益な事業を行いたい、と東京RCが設立したのは海外から優秀な学生を日本に招き勉学を支援する奨学金事業でした。この「米山基金」が、わずか5年で日本の全ロータリークラブの共同事業となり、以後「日本で学ぶ外国人留学生を支援する奨学金事業」として74年の歴史を重ね、その累計奨学生数は25000人を超えています。この奨学金事業の最大の特長は「世話クラブ・カウンセラー制度」です。米山奨学生に毎月世話クラブの例会や活動に参加してもらい、交流を深めることを大切にしています。会員との交流を通して日本の社会を知り、ロータリーの奉仕の精神を学びます。交流を重ねることで彼らはロータリアンからの恩を強く感じています。奨学期間が終わった後も、世話クラブ会員と奨学生の交流が長く続いているエピソードをよく耳にしますが、恩を忘れず何とか「恩返し」したいという気持ちの表れでしょう。彼ら米山学友は、日本の全地区、そしてアジアの10カ国で米山学友会を結成しています。そして世界の米山学友が集う米山学友会世界大会を2、3年ごとに開催し、学友活動の在り方などを議論し刺激しあっています。ここでも「恩返し」の言葉をよく耳にします。まさに信頼の絆が繋がり、ロータリー精神が米山学友の中に根付き、その成果が膨らんできている証です。この素晴らしい米山奨学事業を支えているのは、ロータリアンの皆様の寄付金です。2700地区の皆様の高いレベルの寄付金で、2026年度は米山奨学生を31名12カ国から幅広く採用することができました。地区内半分の31クラブに世話クラブとして、奨学生のお世話・交流をして頂いています。一方で、まだ奨学生との接触機会が少なく米山奨学生の実像を知りたいと興味をお持ちのクラブは、ぜひ奨学生を例会へお招きください。日本文化への興味や交流意識を高く持ち、既に卓話研修を終え、お訪ねし卓話する準備を整えています。米山月間以外でも結構ですのでぜひお声掛けください。最後に、この「米山月間」に当たり、日頃からの米山奨学事業ご支援へ改めて感謝致しますとともに、奨学生を世界平和に貢献する親日家へ育てあげることにご協力お願い申し上げます。